

令和 2年度

事務事業評価表 (令和元年度 の実績評価)

記入年月日
令和 2 年 4 月 12 日

Table with columns for 事務事業名, 事業区分, 担当, 政策体系, 予算科目, 法令根拠, and 事業期間. Includes details for '図書館協会参画事業' and '生涯学習・芸術文化活動の推進'.

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (事務事業の全体像) and ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順. Includes details about library cooperation and activities.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with columns for ①手段, ②対象, ③意図, and ④-⑥各指標. Includes data for participation in library association activities and staff training.

(3) 投入量 (事業費) の推移

Table showing financial and personnel input data for 30, 01, and 02 fiscal years. Includes categories like 国庫支出金, 事業費計(A), and 正規職員従事人数.

Table showing 01年度事業費実績 (千円) and 02年度事業費 予算 (千円) with a total of 12 for both years.

事務事業名	図書館協会参画事業	事務事業No.	20203000614	所属課	生涯学習課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 【茨城県図書館協会】 合併前はそれぞれの公民館で加入、平成27年度より桜川市の代表館として真壁図書館が協会に加盟、岩瀬・大和中央公民館は退会した。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 特になし					
【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。					

評価項目	
現状維持	① 政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 情報交換や先進地視察による最新の情勢や優れた取り組みの把握、相互貸借をはじめとした他図書館との連携など、高水準の図書館サービスの維持につながる。
	② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ・県内の図書館等と情報交換することで、よりよい図書館運営が図れる。 ・県西地区の図書館同士で交流することにより、図書館関係の最新の情報取得、研修等による図書館員の能力向上につながる。
有効性	③ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input type="checkbox"/> 向上余地がない 成果を向上させるというよりも、他図書館との交流や情報交換により、県内図書館全体の連携強化等に役立つものである。
	④ 廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 他の図書館との連携が取れなくなり、相互貸借等が滞るため図書館サービスの低下につながる。
	⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名 <input type="checkbox"/> 余地がない ・県の構成団体である。(県図書館協会) ・県西地区の自治体による協議会であり現在も活発に活動していることから、統廃合の余地はない。
効率性	⑥ 事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input type="checkbox"/> 削減余地がない 【県協会】負担金については規約に定める館の種別により決定しているため削減できない。 【県西地区】負担金は加盟館当たり8,000円と規約に定められているため削減できない。
	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 協会・協議会加盟団体を対象としており、市民を中心とした利用者への図書館サービスの維持につながっているため公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)																			
(1) 1次評価者としての評価結果 ① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 協会・協議会が企画する研修会等への参加により図書館職員の質の維持向上が図られている。 特にここ数年、行政専門員や新規に採用した臨時職員が初任者研修に参加することで図書館職員としての基礎的な知識を身に付ける貴重な機会となっている。																		
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 (複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上維持低下</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>	成果	向上維持低下	コスト			削減	維持	増加				○	×			×	×	×
成果	向上維持低下			コスト															
		削減	維持	増加															
			○	×															
		×	×	×															
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策	(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 9																		

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項	
(1) 課長評価 課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 確認欄 <input type="checkbox"/>